

# 環境経営レポート

2024年度（第68期）

2023年10月1日 ～ 2024年9月30日

作成日 2024年12月20日



JR西日本との共創による「駅ホームと車両の段差隙間解消機の開発」  
桜島線（.IRゆめ咲線）にて

会社名 株式会社小松製作所

住所 長野県松本市大字今井字松本道 7256-1  
発行責任者 丸山 浩海  
連絡先 0263-58-3330  
e-mail komathu@po.mcci.or.jp

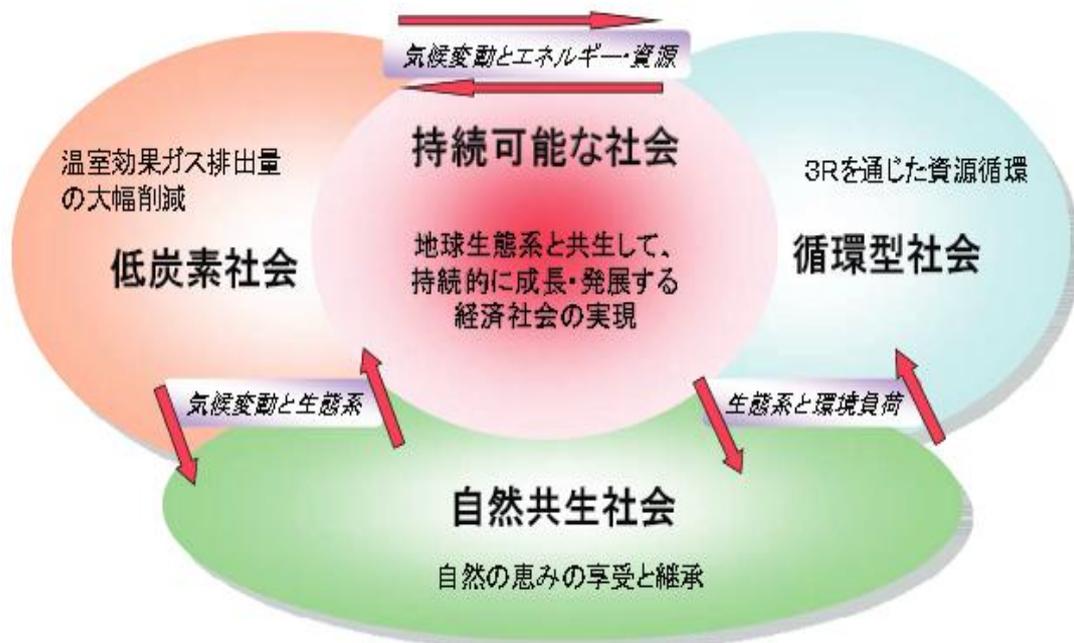
## 目 次

1. 組織の概要（対象範囲）
2. 事業概要
3. マテリアルバランス
4. 環境経営方針
5. 建物施設配置図
6. 環境経営目標達成の実施体制
7. 環境経営目標の設定、その実績と評価、当年予測と次年度目標
8. 環境経営目標・計画の評価と次年度環境経営計画への取組計画
9. 主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無
10. 環境上の緊急事態の想定及び訓練記録
11. 内部コミュニケーション
12. 環境に関する外部からの苦情の受付・処置、問題点の是正処置、予防処置
13. 代表者による全体の評価と見直し、指示

以降、会社概要

## 持続可能な社会を目指しています（環境保全活動）

図:持続可能な社会に向けた取組(統合的取組の展開)



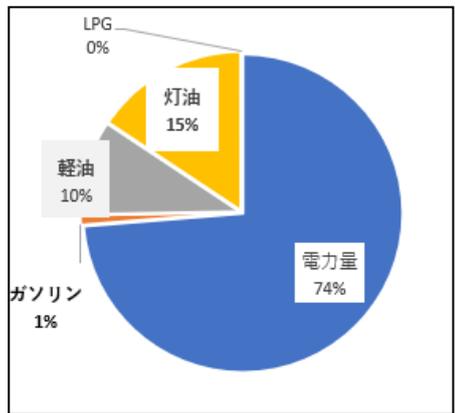
(出典)21世紀環境立国戦略(平成19年6月1日閣議決定)

# 1. 組織の概要

事業所名	株式会社小松製作所		
代表者名	小松 浩康		
事業所の所在地	長野県松本市大字今井字松本道 7256-1		
事業内容	建設機械部品等の製造		
設立、資本金	1956年10月	10,000,000円	
エコアクション21	・対象 本社 ・管理責任者 丸山 浩海 ・連絡先 0263-58-3330		

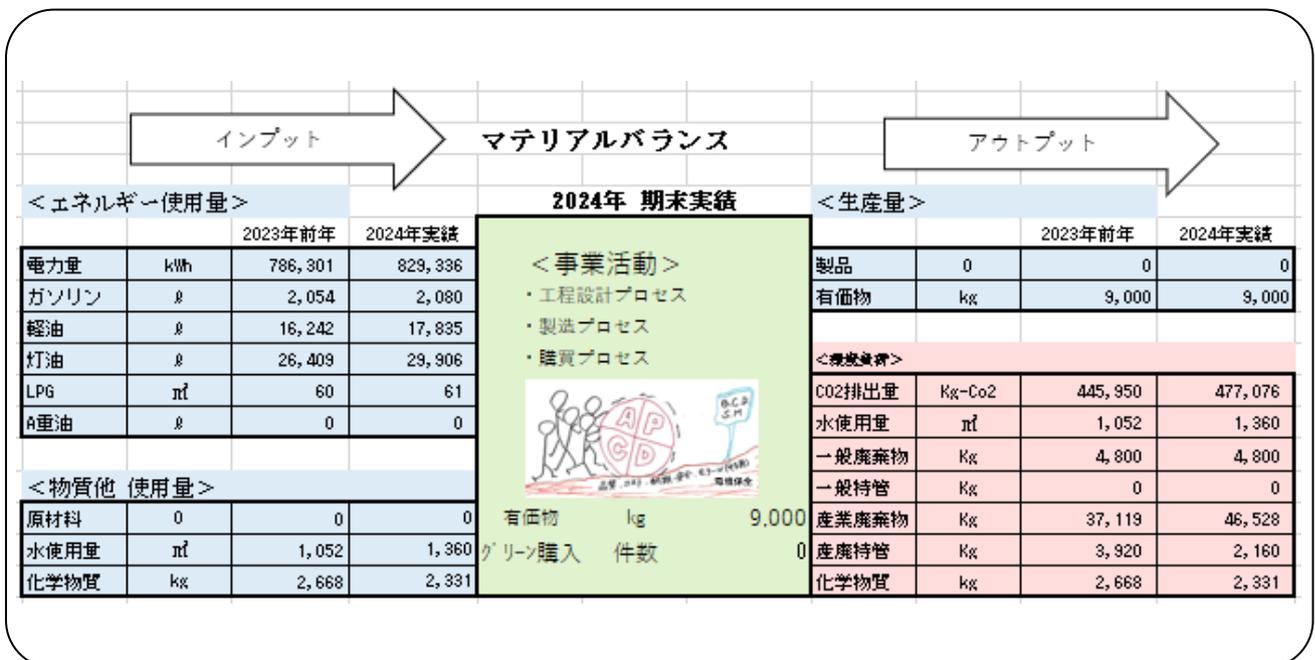
# 2. 事業の概要

		基準年	前年	当年実績
		2022年	2023年	2024年
売上高	千円	1,418,823	1,610,851	1,724,125
生産高	m <sup>3</sup>	0	0	0
人員	人員	88	88	86
延べ床面積	m <sup>2</sup>	7229	7229	7229



# 3. マテリアルバランス

※重油は使用していない。原材料、製品、再生利用は集計していない。一般特管はない。



## 4. 環境経営方針

### 【 環 境 経 営 方 針 】

#### 基本理念

当社は、持続可能な社会の実現に向け、地球規模の環境保全及び気候変動問題への対応が重要課題の一つであると認識し、事業活動における環境負荷低減に努めるとともに、「脱炭素」を目指すことで地球環境の保全活動を推進します。

#### 基本方針

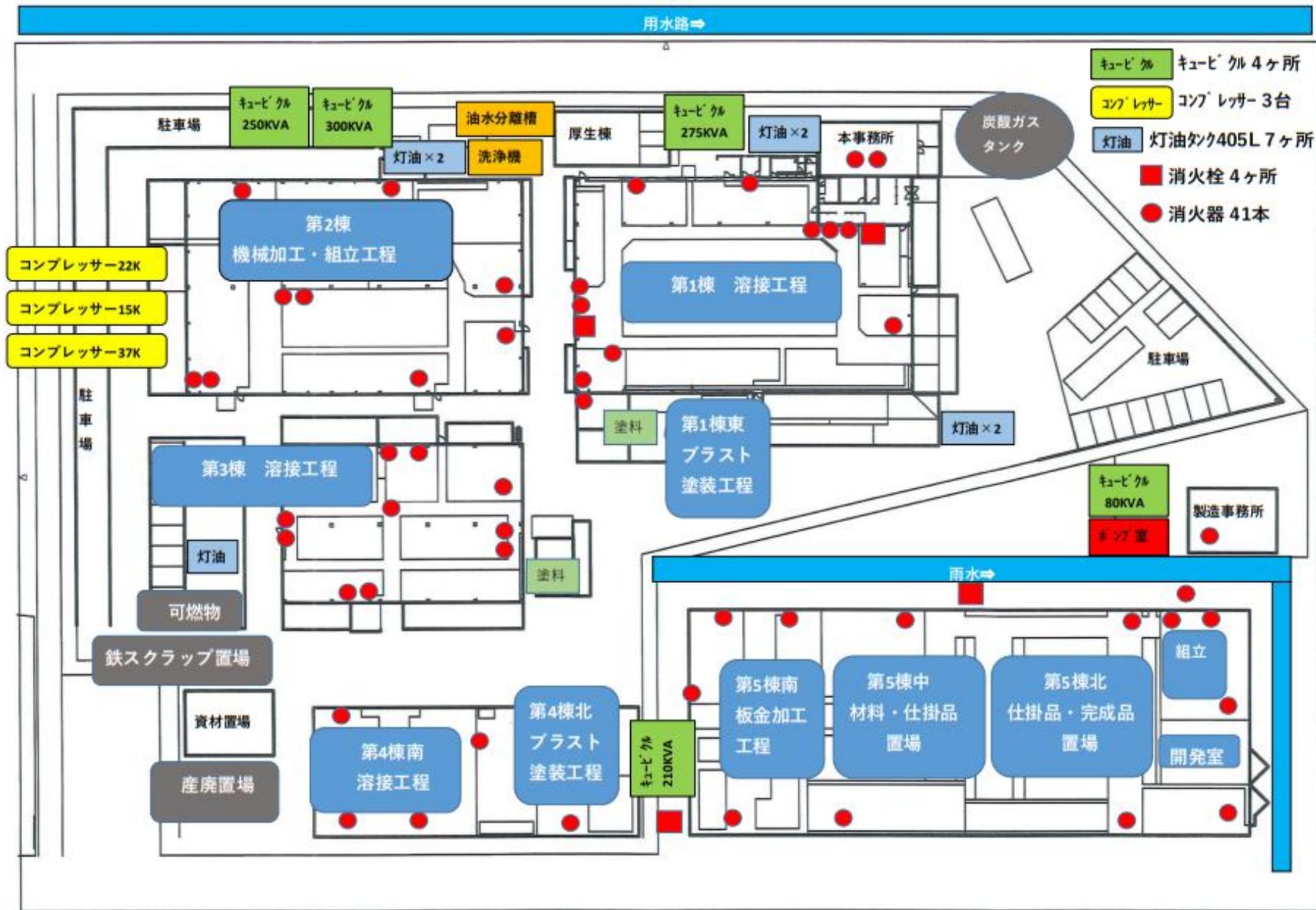
1. 地球環境の保全を図り、環境汚染の予防に努めます。
2. 脱炭素社会・循環型社会の実現に向け、CO2排出量削減、廃棄物削減、資源の再利用・リサイクル、エネルギーの効率的利用等の環境負荷低減に取り組みます。
3. 事業活動に伴う自然・生態系への影響に配慮し、生物多様性の保全を図ります。
4. 環境管理体制を整備し、役割・責任・権限を決め、環境経営の継続的な改善活動に取り組みます。
5. 事業活動上遵守すべき環境関連法令等を遵守し、管理・評価・改善に努めます。
6. 継続的な環境教育や啓発活動により、環境意識の向上を図ります。
7. 本環境方針は、全従業員へ周知するとともに一般に公開します。

制定日 2022年 6月 29日

最終改定日 2024年11月 12日

株式会社小松製作所

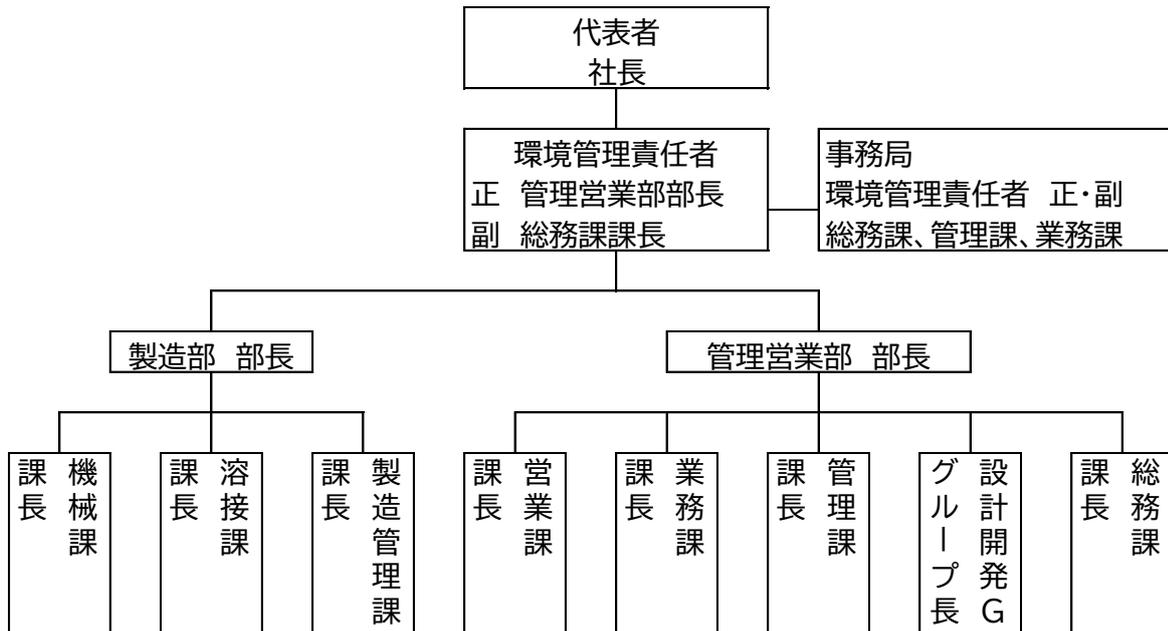
代表取締役社長 小松 浩康



5. 建物施設配置図

## 6. 環境経営目標達成の実施体制

### 【 環境管理体制 組織図 】



担当	役割・責任・権限・活動内容
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境システムの実施</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境方針の策定・見直し、全従業員への周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書の承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し作業の実施</li> <li>・環境活動レポート承認</li> </ul>
環境管理責任者 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システム構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表作成・承認</li> <li>・環境目標、環境活動計画書の作成・確認</li> <li>・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポート作成・承認</li> <li>・環境目標、環境活動計画書の原案作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価の実施</li> <li>・想定された事故及び緊急事態での対応を想定した手順書作成</li> </ul>
設計開発G長 管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内生產品、購入品の省エネ、エコについてのリサーチ・企画・立案</li> <li>・再生資源の利用・企画・立案</li> <li>・サービスの提供により顧客製品の省エネ化に繋げる</li> </ul>
機械課課長 溶接課課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量の削減</li> <li>・ガス使用量の削減</li> <li>・水道使用量の削減</li> </ul>
業務課課長 営業課課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ運転による自動車、フォークリフト燃料(CO2)の削減</li> <li>・安全運転による事故防止とエコ活動</li> </ul>
総務課 製造管理課課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の削減</li> <li>・ゴミの分別活動</li> </ul>

## 7. 環境経営目標の設定、実績と評価 当年実績値と次年度目標

評価 ○100%達成、△95%達成、×95%以下 ※環境経営レポート作成は、前年実績に依る。

環境経営 (環境評価)		基準年実績	前年目標	前年実績	目標対比	当年目標	当年実績	目標対比	次年度目標	2年後目標	3年後目標	4年後目標
項目	単位	2022年	2023年	2023年	実績評価	2024年	2024年	実績評価	2025年	2026年	2027年	2028年
C02排出量	Kg-Co2	463,133	486,289	445,950	○	468,248	477,076	△	366,724	433,920	472,538	495,882
C02/売上高	Kg-Co2/百万	326	360	277	○	360	277	○	213	252	274	288
光熱費	千円	25,452	26,725	32,314	×	33,930	28,410	○	21,838	25,840	28,139	29,529
電力量	kWh	812,619	853,250	786,301	○	825,616	829,336	△	637,502	754,314	821,448	862,027
ガソリン	ℓ	2,392	2,512	2,054	○	2,157	2,080	○	1,599	1,892	2,060	2,162
軽油	ℓ	15,957	16,755	16,242	○	17,054	17,835	△	13,710	16,222	17,665	18,538
灯油	ℓ	28,809	30,249	26,409	○	27,730	29,906	×	22,988	27,201	29,622	31,085
水使用量	m <sup>3</sup>	2,059	2,162	1,052	○	1,105	1,360	×	1,045	1,237	1,347	1,414
一般廃棄物	Kg	4,800	5,040	4,800	○	5,040	4,800	○	4,800	4,800	4,800	4,800
産業廃棄物	Kg	43,958	46,156	41,039	○	43,091	48,688	×	37,426	44,284	48,225	50,607

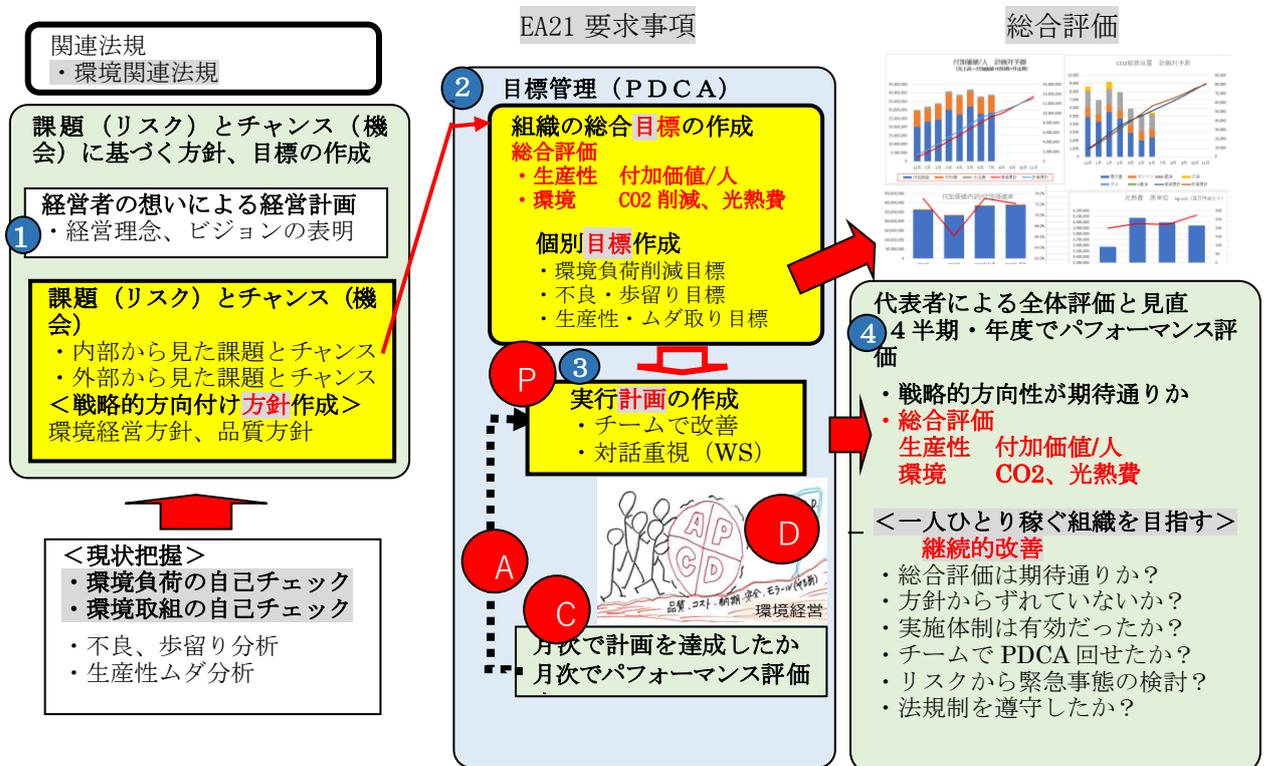
  

ムダ取り (生産性評価)		基準年実績	前年目標	前年実績	目標対比	当年目標	当年実績	目標対比	次年度目標	2年後目標	3年後目標	4年後目標
項目	単位	2022年	2023年	2023年	実績評価	2024年	2024年	実績評価	2025年	2026年	2027年	2028年
付加価値/人	千円	7,432	8,465	8,688	○	9,226	9,846	○	8,308	9,562	10,200	10,497
残業時間	時間	11,790	12,862	14,211	×	15,027	17,516	×	6,447			
残業代	千円	19,946	21,759	24,453	×	25,857	32,617	×	12,455			
クレーム件数	件数	7	11	22	×	9	22	×	16			
社内不良件数	件数	196	72	169	×	72	116	×	72			
消耗品費	千円	27,690	30,472	31,010	△	30,939	23,877	○	19,552			

※ CO2換算係数 中部電力2019年度 0.424

(注) 8. 環境経営目標の取組計画には、環境経営目標項目の他に本来業務改善項目が含まれています

## 「よい会社」を目指した目標管理 (PDCA) の進め方①~④



## 8. 環境経営目標・計画の評価

評価：○実施 △一部未実施 ×未実施

分類	環境目標項目 本来改善項目	経営環境への取組の活動（環境活動レポート作成年）					
		2023年10月～2024年9月					
		削減 目標	当年度計画	削減 実績	評 価	評価コメント	担当者
二酸化炭素削減	総 CO2 排出量 原単位（売上高）	468,248 Kg-Co2	・電力の省エネを重視する	477,076 Kg-Co2	△	・排出量是对前年度 7%増ではあったが、原単位では CO2 削減できた	清水 SM 岩下 SM
	1)電力削減	33,930 千円	・省エネ推進等による光熱費削減	28,410 千円	○	・燃料代が前年を上回るなか、電気代が大幅に減少となったが、単価が下がったことが主因と思われる	小松 P 藤井 M 丸山 M
		825,616 kWh	・省エネ推進等による電力使用量の削減	829,336 kWh	○	・売上高が対前年約 7%増、残業時間が同 23%増であったなか、使用電力量は前年とほぼ横ばい程度に抑えられた	小松 P 藤井 M 丸山 M
			・機械未使用時の電源 OFF ・昼休み、残業時間帯の不要箇所の消灯徹底		○	・暖機運転の在り方に改善要す	職班長 小林 SC
			・フォークリフトの急ハンドル、急加減速防止によるエコ運転の実施		△	・フォークリフトのエコ運転には課題残る	職班長 川口 SC
			・エアコンの温度設定を事務所 夏 27℃、冬 21℃		○	・気候変動に合わせエアコン/ストーブの温度設定の変更検討要	久保田 SM 藤井 M
	2)ガソリン	2,157 ℓ	・燃料補給時の燃費記録 ・配送、集荷ルートの効率化 ・エコ運転の実施	2,080 ℓ	○	・対前年売上は約 7%増となる中で、ガソリンの使用量は前年以下に抑制できた	藤松 SM 小林 SC
	3)軽油削減	17,054 ℓ	・燃料補給時の燃費記録 ・軽油の社内使用量管理 ・配送、集荷ルートの効率化 ・運行予定の共有	17,835 ℓ	△	・売上高に対する軽油の使用量を比較すると前期と大差は無いが、トラック 3 台の活用方法に改善の余地残る	丸山 SM 中田 S 職班長
4)灯油削減	27,730 ℓ	・冬季のジェットヒーター運転管理 ・灯油使用量の見える化	29,906 ℓ	×	・時間制限を設けたジェットヒーター/ストーブ使用を実施しているが目標は未達 ・灯油使用量見える化の方法は今後検討	職班長 松岡 S	
廃棄物削減	5)一般廃棄物削減	5,040 kg	・両面印刷、両面コピー、裏紙使用によるコピー用紙削減（表示） ・各部門のコピー、印刷削減 ・3R の推進 ・分別の徹底	4,800 kg	○	・PC からの直接 FAX 機能を使用し印刷コストの削減実施 ・パイプ式ファイル、ボールペンなどリサイクル商品を使用	有賀 S 松岡 S 大澤 SM
	6)産業廃棄物削減	43,091 kg	・3R の推進 ・混合廃棄物の削減（分別の徹底）	48,688 kg	×	・廃プラの分別及びラップ使用量削減への取り組み継続。	大澤 SM 上條 S
その他環境負	7)化学物質		・特化物を使用しない塗料、シンナーの調査、使用検討 ・希釈率、塗布量の管理による使用量削減 ・表示、保管の徹底		△	・メチルイソブチルケトンを含む塗料の使用を止めた。 ・塗料の使用量は前期より増加（使用量/売上高）	岩下 SM
	8)水使用量	1,105	・各自節水に努める	1,360		・水道使用量の現状把握の	清水 SM

荷削減		m <sup>3</sup>	・水道使用量の見える化検討	m <sup>3</sup>	△	方法に改善の余地ある	
	9) 端材、屑の有効活用		・端材の見える化 ・端材、屑の有効活用 ・メーカーでリサイクル		○	・鋼材に関してはほぼ100%リサイクル出来ている ・端材管理実施の周知	中村 GL
	10) グリーン購入		・グリーン調達品に該当する物の調査及び変更		○	・事務用品でエコ商品とグリーン購入適合商品使用状況の調査実施	久保田 SM 石川 S
環境負荷削減支援業務	11) 環境関連法令の遵守		・環境関連法規の整理確認(1回/年、4月) ・関係機関に確認		○	・新化学物質規制移行に伴い塗料の最新 SDS の取得など実施	丸山 M 藤井 M
	12) 環境教育		・8:00~8:15 の清掃徹底 ・通年の構内、工場周辺の草刈り及びアダプト活動		△	・構内草刈り、アダプト作業においては計画に基づき実施 ・朝の5S活動においては一部社員にて未実施	職班長 係長
			・朝礼等で EA21 の理解を深める ・3 ヶ月に1回環境教育		×	・環境教育含め朝礼時の啓蒙など未実施	職班長 係長
	13) 緊急事態を想定し対策訓練を行う		・緊急連絡網のテスト(1回/年 4月)		○	・時期は遅れたものの実施	丸山 M
			・従業員連絡リストの最新版確認(2回/年 4月、9月)		×	・担当者と相談し改めて実施する	久保田 SM
			・総合訓練(避難、通報、初期消火)(1回/年、9月)		△	・時期は遅れたものの実施	丸山 M
生産性向上	14) 付加価値/人	9,226千円	・内製化推進による外注比率削減 ・段取り、在庫削減(ロボット化、自動化) ・購入先の新規開拓を含めたコスト低減活動	9,846千円	○	・1人当たりの付加価値、売上高に対する付加価値率ともに目標達成できた ・ロボット化においても幾つかのアイテムにて実施できた	丸山 M
	15) 残業時間削減	15,027H 25,857千円	・属人化している業務及び作業の把握、改善 ・労働時間管理の徹底 ・出勤率の偏り改善 ・個々の仕事量の平準化	17,516H 32,617千円	×	・出勤率に偏りがあり一部社員に負荷が集中 ・仕事量のアンバランスにも改善の余地あり	職班長 係長
	16) 顧客クレーム削減	9件	・品質納期目標の達成 ・出荷前検査による不適合品の流出防止 ・納期変更に対する柔軟な対応	20件	×	・件数、仕損費ともに増加傾向にある	藤井 M 丸山 M
	17) 社内不適合削減	72件	・社内発見(社内不適合)による顧客への流出防止 ・不適合分析シートの活用	105件	×	・取り組みに職場によって差がある ・未実施	藤井 M 丸山 M
	18) 教育		・個別に有効な教育計画の作成(内部、外部講習) ・属人化業務の整理		△	・教育計画の見直し未実施 ・OJTによる業務習得は実施	部課長
	19) 消耗品	30,939千円	・工場消耗品、事務用品、保護具等の在庫管理 ・備品持ち出し時のルール化	23,877千円	△	・事務用品においては無断持ち出しが見受けられなくなった	課長 職班長

(注) 本来業務(日常業務)と統合しているため、7. 環境経営目標以外の本来業務改善項目が含まれています。

## 9. 次年度環境経営目標・計画

評価：○実施 △一部未実施 ×未実施

分類	環境目標項目 本来改善項目	次年度環境への取組の計画（環境活動レポート作成年）					
		2024年10月～2025年9月					
		削減 目標	次年度計画	削減 実績	評価	評価コメント	担当者
二酸化炭素削減	総CO2排出量 原単位（売上高）	366,724 Kg-Co2	・電力の省エネを重視する				清水 SM 岩下 SM
	1)電力削減	21,838 千円	・省エネ推進等による光熱費削減				小松 P 藤井 M 丸山 M
		637,502 kWh	・省エネ推進等による電力使用量の削減				小松 P 藤井 M 丸山 M
			・機械未使用時の電源 OFF （稼働管理レポートの活用） ・不要箇所、時間帯による 消灯の継続				職班長 小林 SC
			・フォークリフト運転時の急 ハンドル、急加減速の防止				職班長 川口 SC
			・エアコン温度設定 事務所 26℃、冬 21℃ （その時の気候による）				久保田 SM 藤井 M
	2)ガソリン	1,599 ℓ	・配送、集荷ルート効率化 ・通常業務外での社有車使用 頻度削減				藤松 SM 小林 SC
	3)軽油削減	13,710 ℓ	・軽油の社内使用量管理 （4t リフトのエコ運転） ・輸送配送ルート効率化 （運行予定の共有）				丸山 SM 中田 S 職班長
4)灯油削減	22,988 ℓ	・冬季のジェットヒーター、 ファンヒーター運転管理				職班長 松岡 S	
廃棄物削減	5)一般廃棄物 削減	4,800 kg	・両面印刷、両面コピー、 裏紙の利用促進 ・各部門のコピー、印刷削減 ・3Rの推進 ・分別の徹底				有賀 S 松岡 S 大澤 SM
	6)産業廃棄物 削減	37,426 kg	・3Rの推進 ・混合廃棄物の削減 （分別の徹底）				大澤 SM 上條 S
その他環境 負荷削減	7)化学物質		・特化物を使用しない塗料、 シンナーの使用を調査・ 検討 ・希釈率、塗布量の管理に よる使用量削減 ・表示、保管の徹底				岩下 SM
	8)水使用量	1,045 m <sup>3</sup>	・各自節水に努める ・水道使用量の見える化検討				清水 SM
	9)端材、屑の 有効活用		・端材の見える化 ・端材、屑の有効活用 ・メーカーでリサイクル				中村 GL
	10)グリーン購 入		・現状使用している事務用品 にてエコ商品のリスト化				久保田 SM 中村 GL
環境	11)環境関連 法令の遵守		・環境関連法規の整理確認 （1回/年、4月） ・関係機関に確認				丸山 M 藤井 M

負荷削減支援業務	12)環境教育		<ul style="list-style-type: none"> <li>・8:00～8:15の清掃徹底</li> <li>・通年の構内、工場周辺の草刈り及びアダプト活動</li> </ul>			職班長 係長
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼等でEA21の理解を深める</li> <li>・3ヵ月に1回環境教育</li> </ul>			職班長 係長
	13)緊急事態を想定し対策訓練を行う		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡網のテスト(1回/年 4月)</li> </ul>			小松 P 丸山 M
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員連絡先リストの最新版確認(2回/年 4月、9月)</li> </ul>			久保田 SM
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合訓練(避難・通報・初期消火)(1回/年、9月)</li> </ul>			丸山 M
	生産性向上	14)付加価値/人	8,308 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内製化推進による外注比率削減</li> <li>・段取り、在庫削減(ロボット化、自動化)</li> <li>・購入先の新規開拓を含めたコスト低減活動</li> </ul>		
15)残業時間削減		6,447 H 12,455 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属人化している業務及び作業の把握、改善</li> <li>・労働時間管理の徹底</li> <li>・教育計画の見直し</li> <li>・個々の仕事量の平準化</li> </ul>			部課長 職班長 係長
16)顧客クレーム削減		16 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質納期目標の達成</li> <li>・出荷前検査による不適合品の流出防止</li> <li>・納期変更に対する柔軟な対応</li> </ul>			藤井 M 丸山 M
17)社内不適合削減		72 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内発見(社内不適合)による顧客への流出防止</li> <li>・不適合分析シートの活用</li> </ul>			藤井 M 丸山 M
18)教育			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に有効な教育計画の作成(内部,外部講習)</li> <li>・属人化業務の整理</li> </ul>			部課長
19)消耗品		19,552 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場消耗品、事務用品、保護具等の在庫管理</li> <li>・相見積もりの実施</li> </ul>			課長 職班長 松岡 S

(注) 本来業務(日常業務)と統合しているため、7. 環境経営目標以外の本来業務改善項目が含まれています。

## 10. 主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無

遵守の評価 令和6年12月6日 承認者：小松 浩康

環境関連法規	遵守事項	評価	責任者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正処理の徹底</li> <li>契約書、マニュアル、帳簿の記載、報告</li> <li>廃棄物処理業者の資格証の確認</li> <li>水銀廃棄物の適正処理 (蛍光灯、メタルハライド、照明器具安定器)</li> </ul>	○	丸山 M
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一種特定製品（パッケージエアコン：事務所、チャラー：三菱、コンプレッサー）の点検、漏洩防止、点検記録の保持</li> </ul>	○	丸山 M
浄化槽法		-	-
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制地域外（市役所へ確認済み）</li> </ul>	-	-
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制地域外（市役所へ確認済み）</li> </ul>	-	-
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者、危険物、健康診断</li> </ul>	○	藤井 M 久保田 SM
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>少量危険物の貯蔵届出</li> </ul>	○	丸山 M
化管法（PRTR 法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料/溶剤に含有する指定物質の排出量・移動量の調査及び届け出</li> </ul>	○	丸山 M
省エネ法	<ul style="list-style-type: none"> <li>原油換算約 232kL/年間にて努力義務の範囲</li> </ul>	○	丸山 M

※管理責任者による遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありません。地域及び当年の関係当局からの訴訟及び苦情及び過去3年間に渡って訴訟及び苦情はありません。

## 11. 環境上の緊急事態の想定及び訓練記録

緊急事態の想定	手順	訓練	訓練実施日	事故（いつ、状況、対応策の検証
緊急連絡網訓練	緊急連絡網図	年1回訓練	R6.10.24 実施	無し
避難訓練、消火訓練	訓練手順書	年1回 総合訓練 (避難・通報・初期消火)	R6.9.20 実施	
灯油漏洩訓練	灯油漏洩訓練	不定期訓練	R5.10.5 実施	

## 12. 社内コミュニケーション

会議体	内容	いつ	責任者
幹部会議	経営計画を達成する生産性、環境関連目標の設定 月次でパフォーマンス評価 生産性、環境負荷削の評価と対応	月第3週	社長
職場会議	各部門で改善実行計画の作成 改善の実施と目標達成評価と対応策	必要時	部門長
全体会議	経営理念、方針、目標、計画の周知	年2回 10月、4月	社長
朝礼	日常的情報交換、教育の機会	毎朝	部門長
代表者による見直し	EA21に基づく環境経営全体の有効性の評価 方針、目標、計画及び実施体制について評価 必要な方策の指示をする。	年1回 10月 幹部会議で	社長

### 13.環境に関する外部からの苦情の受付・処置、問題点の是正処置、予防処置

問題点	是正処置及び予防処置	いつ	責任者
外部からの苦情なし	無し	無し	
是正処置なし	無し	無し	

### 14. 代表者による全体の評価と見直し、指示

令和6年12月20日 責任者 小松 浩康

会議体	内容
総合評価 ・業績 ・環境保全など	<p>実態把握のもと目標達成に取り組み、総合的には多くの目標を達成することができた。結果として目標未達であった項目についても部門毎に様々な改善活動を行っており、次年度への成果が期待できる。</p> <p>各環境目標</p> <p>【付加価値管理（総合評価）】                      目標達成：売上高、材料費、付加価値、付加価値率、付加価値/人                      目標未達：外注費</p> <p>【環境経営（環境評価）】                      目標達成：CO2 排出量、CO2/売上高、光熱費、電力量、ガソリン、一般廃棄物                      目標未達：軽油、水使用量、産業廃棄物</p> <p>【ムダ取り（生産性評価）】                      目標達成：付加価値/人、消耗品費                      目標未達：残業時間、残業代、クレーム件数、社内不良件数</p>
方針に基づき活動ができたか	<p>方針に基づいた活動はできたが、目標未達項目に関しては次年度に課題を残す結果となった。</p>
目標、計画の達成度は期待通りか	<p>【付加価値管理（総合評価）】                      外注費は目標未達となったが、全体的に期待通りの結果が得られた。</p> <p>【環境経営（環境評価）】                      軽油、水使用量、産業廃棄物は目標未達となったが、省エネ活動推進により CO2 排出量目標を達成でき、全体的に期待通りの結果が得られた。</p> <p>【ムダ取り（生産性評価）】                      一人当たり付加価値高を高めることはできたが、1年を通して仕事量の変動が激しく、入退社が多かったこともあり、残業時間、品質面には課題を残す結果となった。</p>
実施状況 改善活動の状況	<p>EA21 の理解と改善活動には担当者を中心に取り組んでいるものの、更なる向上に向け、管理職が中心となった中で、全社的な取り組みに発展させていく必要があります。</p>
環境経営方針 環境経営目標及び 環境経営計画 実施体制の変更	<p>環境経営方針：無                      環境経営目標及び環境経営計画：有                      実施体制：無</p>
次年度への取組	<p>次年度は、世界的な需要低下に伴う建機メーカーを始めとした大幅減産より、厳しいスタートとなりますが、顧客の減産も変化のチャンスと捉え、目標達成に向け全社一丸となって取り組みます。</p>

#### 指示事項

改善事項	何時まで	責任者	確認
改善指示事項無し			